

主催:福岡市 福岡市発達障がい者支援センター(福岡市社会福祉事業団)
後援:福岡市教育委員会 福岡市医師会 福岡市自閉症協会 福岡LD及び周辺児・者親の会「たけのこ」
福岡ADHD親の会「ティンカーベル」 福岡市成人期高機能自閉症・アスペルガー症候群等親の会「あすなる」
知的障がい特別支援学校保護者会連合会 福岡市PTA協議会



毎年4月2日は、国連の定めた『世界自閉症啓発デー』

みんなちがって、みんないい

4月2日(金)～8日(木) 発達障がい啓発週間

福岡市では啓発のために、以下のイベントを行います

4月2日(金)

街頭啓発

時間 12:00～13:00
場所 天神

4月2日(金)～8日(木)

アート展

発達障がいの方々のアート
作品を展示します

時間 9:00～17:00
場所 市役所1階ロビー
星の広場(市役所地下通路)

4月4日(日)

映画祭

時間 10:30～ 開会 挨拶
11:00～ 『アイムヒア 僕はここにいる』(54分)
13:00～ 『あした天気になる?』(85分)

裏面に内容記載

場所 中央市民センターホール
内容 映画上映、パネル展
福祉施設の製品販売

概ね3月下旬～4月中旬
(区により展示期間が異なります)

パネル展

発達障がいのことや、
関係団体の紹介をします

時間 9:00～17:00
場所 各区役所ロビー

「世界自閉症啓発デー」に関する情報サイト <http://www.worldautismawarenessday.jp/>

お問い合わせ先

➡福岡市こども未来局こども部こども発達支援課 3月末までの間は障がい児支援課(TEL、FAX同じ)へお問い合わせ下さい
福岡市中央区天神1丁目8番1号 TEL:(092)711-4178 FAX:(092)733-5534

➡福岡市発達障がい者支援センター  ゆうゆうセンター
福岡市中央区地行浜2丁目1番6号発達教育センター2階 TEL:(092)845-0040 FAX:(092)845-0045
E-mail:youyou@fc-jigyoudan.org <http://www.fc-jigyoudan.org/youyou/>

上映作品ご紹介

『アイムヒア 僕はここにいる』 主演:杉浦太陽
(2007年 大阪府教育委員会作成 人権教育啓発ドラマ)

知的には遅れはないものの、発達がアンバランスなために学校や社会の中で生きにくさを感じ、苦しんでいる“発達障がい”の人たちのことを理解するとともに、どんな支援が必要であるかを知ることのできる作品。

あらすじ

自分が他人と違うことで悩む優希。精神的に追いつめられて会社を退職する。小学校時代の担任香山の助言で病院に行き、広汎性発達障がいと診断される。紹介された障がい者就業・生活支援センターで自信を取り戻し、再就職した会社で自分の世界を築いていく。発達にアンバランスなために学校や社会の中で生きにくさを感じ、苦しんでいる優希を通して、人権問題についての考えを深めるドラマ。

『あした 天気になる？ 発達しょうがいのある人たちの生活記録』
(2008年 宮崎信恵監督作品 ドキュメンタリー映画)

知的しょうがいのある人々の生き難さや困難さに寄り添った支援の大切さを訴えるとともに、日々を生き活きと生きる彼らの生の姿を多くの人に知っていただくことで発達しょうがい者への理解を深めることを願って製作された作品。

あらすじ

舞台は、鞍手郡鞍手町の知的しょうがい者更生施設「サンガーデン鞍手」と日中活動の場である通所施設「ゆたかの里」。自閉症などのしょうがいを併せもつ知的しょうがい者30名(男性20名、女性10名)が、全国でも珍しい小規模完全分離型の家庭的な生活環境の中で暮らす。

平均年齢31歳の入所者の多くは、激しい行動しょうがいがあり、自傷や他害の傷跡が、手の甲や腕、頭や顔に痛々しく残される。しょうがい特有の「こだわり」も随所にみられるが、開設から3年たった今、彼らの行動しょうがいの多くは軽減され、落ち着いた生活環境の中でそれぞれの青春を謳歌して暮らしている。

発達しょうがいのある人々と、その支援者の約1年にわたる自己実現に向けた成長ドキュメンタリー映画。

